



平成21年4月 マンスリー レポート

集計企業数 60社

売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	40,428,712 万円	100.0%	102.6%(101.5%)	38,191,396 万円	97.9%(96.9%)
食 料 品	33,165,149 万円	82.1%(82.1%)	103.3%(102.5%)	31,280,134 万円	99.0%(98.3%)
農 産	4,808,763 万円	11.9%(11.6%)	105.8%(101.1%)	4,544,002 万円	101.5%(97.0%)
水 産	3,377,842 万円	8.4%(8.6%)	99.0%(97.8%)	3,211,180 万円	95.0%(93.9%)
畜 産	3,711,783 万円	9.2%(9.3%)	100.8%(102.2%)	3,523,464 万円	96.4%(97.8%)
惣 菜	3,304,599 万円	8.2%(8.1%)	102.3%(100.4%)	3,113,685 万円	97.7%(96.0%)
日配食品	7,532,697 万円	18.6%(18.5%)	103.9%(103.9%)	7,079,797 万円	99.6%(99.7%)
加工食品	10,429,465 万円	25.8%(26.1%)	104.3%(104.5%)	9,808,006 万円	100.3%(100.4%)
生活関連	3,087,455 万円	7.6%(7.5%)	100.6%(98.4%)	2,935,287 万円	96.6%(94.4%)
衣 料 品	1,691,964 万円	4.2%(4.0%)	95.7%(92.8%)	1,601,289 万円	90.7%(87.9%)
そ の 他	2,484,144 万円	6.1%(6.4%)	102.0%(98.8%)	2,374,686 万円	90.6%(89.0%)

数 値

全店総売上高	40,428,712 万円	店 舗 数	3,740 店舗
総売場面積	6,595,807.9 m ²	総従業員数	202,426 人

店舗平均月商	10,809.8 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,856.5 円(98.9%)
月間m ² 売上(前月)	6.1 万円(6.1 万円)	平均店舗面積	1,763.6 m ²
月間坪売上(前月)	20.2 万円(20.1 万円)	パート比率(前月)	74.3%(74.5%)

注) 総従業員数...パート・アルバイト数は、8時間換算しています

全体概況

- ・ 競合各社の価格競争、販売促進策が続き、客数や点数で昨年を下回るところが多く、先月に続き厳しい結果であった
- ・ 特売商品の売り上げ構成比が高まり、午前中の客数が伸びていることもあり、消費者の買いまわり行動が推察される
- ・ 高速道路 ETC 限定割引や定額給付金支給開始により、週末や連休期間中は消費が活性化する地域が出ている

商品動向

農産

- ・ 野菜は、レタス、キュウリ、トマトなどのサラダ商材、相場高のキャベツの動きが良かった。タマネギ、ジャガイモは売り上げ単価が伸びず、昨年比横ばい
- ・ 果物は、地域差あるが総じてイチゴが売り上げを伸ばした。バナナの売り上げも昨年より伸びは落ち着いているものの好調を継続している

水産

- ・ 刺身は、マグロがブロック、スライスなど形態問わず好調。生カツオは品薄だったが、冷凍ものと合わせると好調に売れた
- ・ 真鯛は主力の養殖ものが好調。相場が下がった真ダコも売り上げを伸ばし、ホタルイカも好調に推移
- ・ 前月に続きアサリの売れ行き良く、生食用も含めてワカメも動向が良い。一部弁当商材の動きは良いが、干物、漬け魚は苦戦が続いている

畜産

- ・ 精肉は、相場が低い豚肉と鶏肉の価格競争が強まり、売り上げは昨年を下回る傾向。牛肉の不調も続き、部門では苦戦した
- ・ 弁当のおかずなど、汎用性がある鶏肉はモモ、ムネともに好調であった。合わせてミートボール、フランク類の動きも良かった
- ・ 週末、GW前半は焼肉商材の動きが良くなったものの、平日は落ち込んだ

惣菜

- ・ 前半の花見需要、天候が安定した週末の行楽需要で、弁当・丼物・おにぎりが好調。各社とも低価格政策を強め、弁当の単価は下落傾向にある
- ・ 寿司はファミリー向けの大型商品が不調。特に握り寿司の動きが鈍い
- ・ 気温上昇にともないサラダ、調理麺も好調であった

日配・加工食品

- ・ 日配食品は、昨年落ち込んだ反動がある冷凍食品の販売点数が伸びたが、割引販売も多く、売り上げでは去年の横ばい
- ・ 漬物など和日配は不調で、アイスクリーム、チルド飲料、ヨーグルトの動きが好調
- ・ 加工食品は、インスタントラーメン、乾麺、米、みそが好調。酒は売り上げを伸ばしたが、ビール類は新ジャンル（第3のビール）以外不調

その他

～花見、行楽マーケットの動向について～

- ・ 全国的な好天と、特に前半は気温が高く、飲料、酒、おつまみ、弁当商材など順調な売り上げであった
- ・ 酒類では、新ジャンル（第3のビール）、低アルコール系が好調
- ・ 惣菜の弁当、おにぎりはコンビニエンスストアなどとの競合もあり苦戦。塩鮭や梅干し、のりなどの弁当商材の動きが良く、手作り志向が強い

～ゴールデンウィークの動向について～

- ・ 高速道路ETC限定割引の影響と、定額給付金支給が始まったこともあり、外出する消費者が多く、ギフト（土産品）、ガム、スナックなど菓子類全般と飲料の動きが良かった
- ・ 行楽へ出かける居住者が多い都心部では、通常の買い物客の減少が見られたが、観光地に近い地区や、帰省客が多い地区では客数が増加した

以上